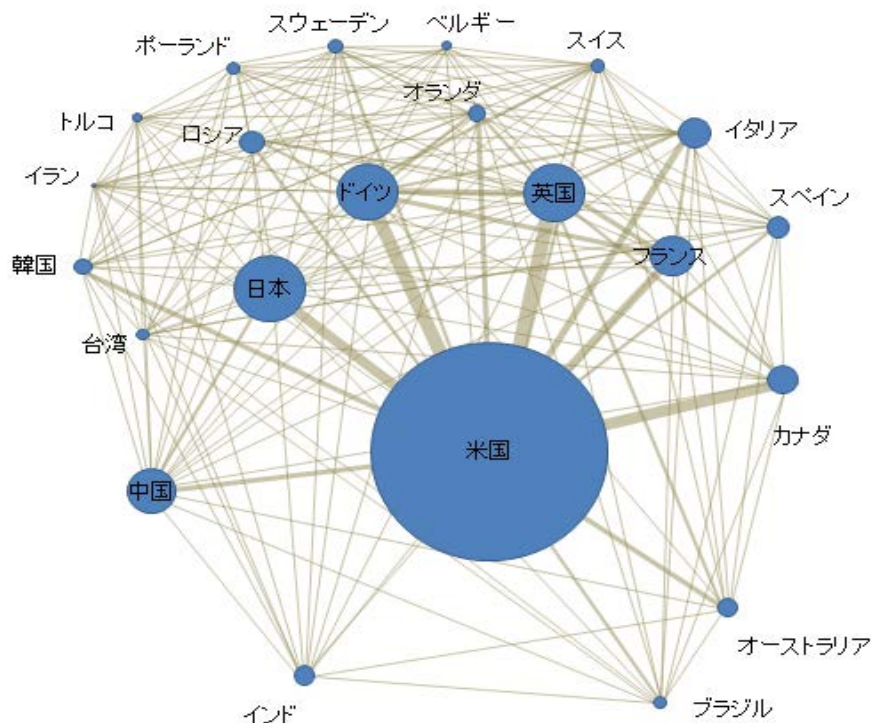
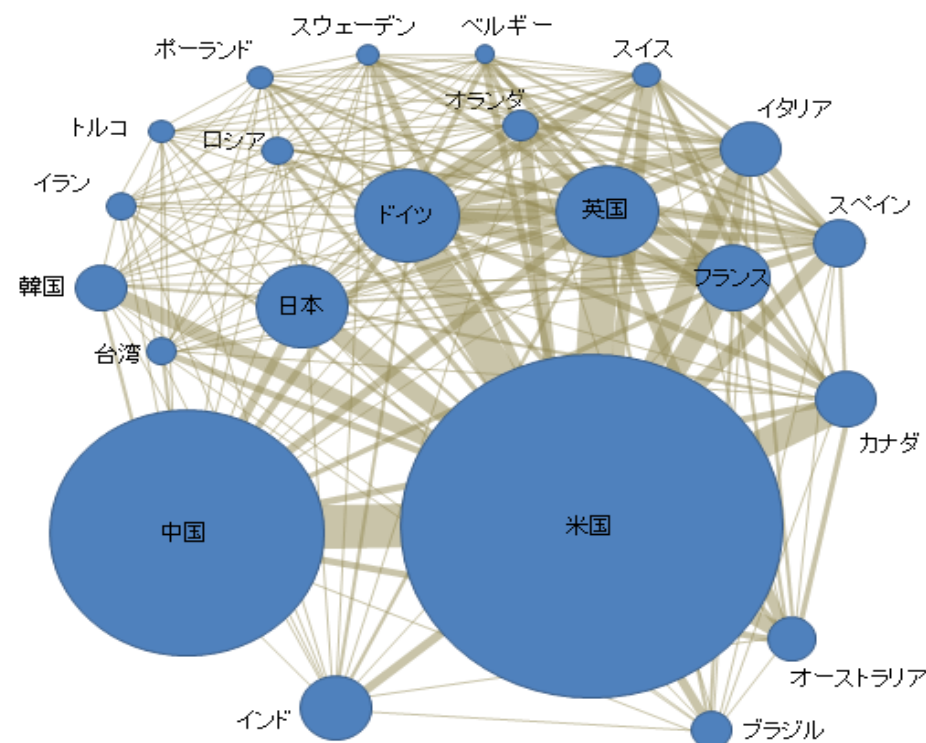


- 2003年から2013年にかけて、世界全体で国際共著論文が大きく増えている。欧米中各国間の共著関係が増加している一方、我が国の共著関係の伸びは相対的に少ない。

2003年



2013年



※ 各国の円の大きさは当該国の科学論文（学術誌掲載論文や国際会議の発表録に含まれる論文等）の数を示す。

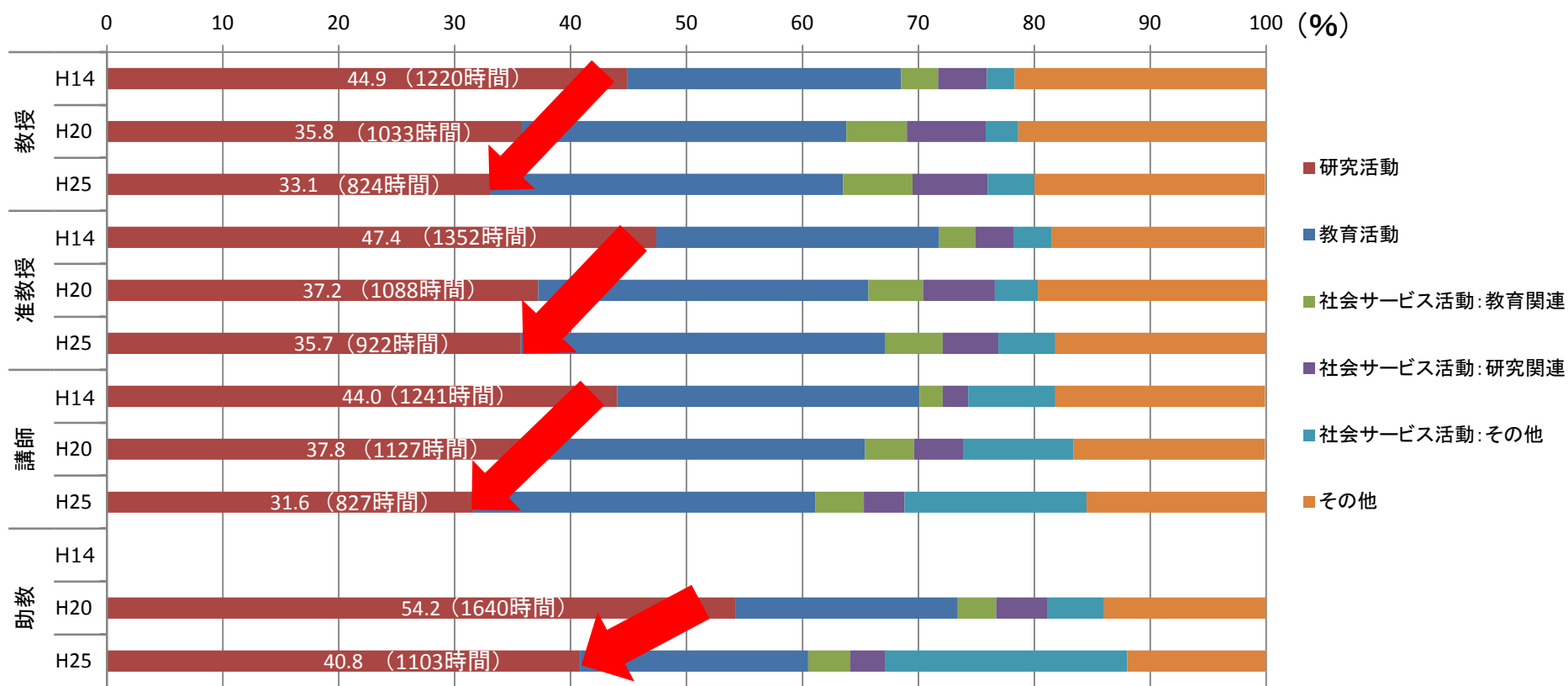
※ 国間の数は、当該国を含む国際共著論文数を示しており、線の太さは国際共著論文数の多さにより太くなる。

出典：エルゼビア社「スコーパス」に基づき、科学技術・学術政策研究所及び文部科学省作成

職位別・活動別年間平均職務時間割合（全大学）

基礎研究力の
強化

○ 大学教員の研究時間、特に若手教員の研究時間が減少傾向にある。



(注) 平成14年度及び平成20年度調査においては単純集計結果。
平成25年度調査では、各学問分野の標本抽出率の差を反映した重み付け集計結果。